



営農経済トピック

No.621(2020.5.25)

今週のメニュー

- T A C 通信
- 青果物の市場概況
- 「J A - T A C パワーアップ大会」取組事例紹介
- 畦畔雑草対策を楽に！除草剤「ダイロンゾル」について
- 気象情報
- 実証農場情報
- J A みどりの風

酪農畜産課 Facebookのご紹介

New

酪農畜産課Facebookページ

<https://www.facebook.com/zennoh.gunma.rakunouchikusan/>

渋川家畜市場Facebookページ

<https://www.facebook.com/zennoh.gunma.shibukawa/>

畜産情報の発信をおこなっています

ぜひ「いいね」をお願いします！

T A C 通信 (564号)

主なニュース

【全農本所】令和2年度T A C アグリビジネススクールの日程について

詳細は別途資料をご覧ください

青果物の市場概況

品 名			5月11日	～	5月16日	5月18日	～	5月23日
			高値		安値	高値		安値
ほうれん草	(200g)	袋	8 1	～	3 2	1 0 8	～	4 3
ふき	(4kg)	D B	1, 0 8 0	～	5 4 0	1, 0 8 0	～	5 4 0
にら	(100g)	束	5 4	～	3 2	4 5	～	2 5
チンゲンサイ	(3kg)	D B	7 2 4	～	3 6 7	7 2 4	～	3 6 7
きゅうり	(5kg)	D B	1, 6 2 0	～	4 3 2	2, 4 8 4	～	6 4 8
なす	(400g)	袋	1 9 4	～	1 4 0	2 0 5	～	1 5 1
トマト	(4kg)	D B	8 6 4	～	4 3 2	8 6 4	～	4 3 2
ミニトマト	(200g)	パック	8 1	～	4 9	8 1	～	4 9
いちご	(300g)	パック	3 2 4	～	1 7 3	2 7 0	～	1 4 0
小玉すいか	(6玉)	D B	4, 5 3 6	～	2, 7 0 0	4, 5 3 6	～	2, 7 0 0

「令和元年度 群馬県 J A - T A C パワーアップ大会」 取組事例紹介

前号に引き続き「令和元年度 群馬県 J A - T A C パワーアップ大会」（2020/2/14開催）受賞者の取組事例をご紹介します。
本日ご紹介するのは J A 太田市 営農部 営農指導課 石川純也さんによる、“「藪塚ほうれん草産地の基盤強化」～産地の継続～」です。

対象となる担い手に提案した背景

藪塚地域は、農家・市場・関係機関との強い結びつきで出荷量を増加させてきた成熟した野菜産地である。現状の生産体制維持、または必要に応じて規模拡大する中で、年間出荷量・所得の安定と荷姿の格差解消を図ること、すなわち「農家所得向上に向けた産地全体のコーディネート」が求められている。そこで、農家所得増加を目標とした「ハウス軟弱野菜産地の強化」を計画の重点とし、これを進めていくために J A 太田市野菜振興プロジェクトを関係機関で構成した。

提案内容

1. ハウス内環境改善

（１）新遮光資材の検討：慣行の遮光資材（銀色）では、夏期に生育が停滞する等の課題があり、そこで新資材（白色）の検討を実証圃で行った。

（２）ほうれん草ケナガコナダニ対策：農薬散布による防除を行っているが十分な効果が得られず対応に苦慮している。そこで、ほうれん草ケナガコナダニの生態と防除対策を研究している山口県農林技術センターの研究員を講師として招き、防除研修会を開催した。

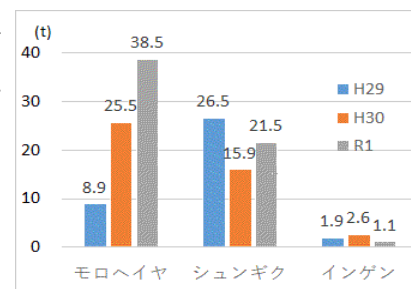
2. 所得補完作物の栽培技術支援

小松菜に替わり、6月～8月に出荷できる所得補完作物を検討・導入した。

担い手にとっての成果

・新遮光資材は、慣行資材に比べて資材や植物体の表面温度及びハウス内気温が低下すること、また、株が充実し品質が向上することが分かった。この結果を農家に周知したところ、新たに7戸が新資材を導入し、出荷量の増加に繋がった。

・所得補完作物としてモロヘイヤやインゲン・春菊などが導入された。特にモロヘイヤは市場評価が高く「藪塚のハウスモロヘイヤ」として新たな産地を形成。



J A にとっての成果

小玉スイカからハウス軟弱野菜を中心とした経営に変化し、ハウスほうれん草やハウス小松菜の生産拡大や所得補完作物の導入が進んだ。また、秋まき露地ほうれん草・露地小松菜の生産拡大や労働力確保のための周年雇用など、農家自身が所得増加に向けた取り組みをおこなっている。こうして、産地全体の出荷量と農家所得の増加が図られ、農家の経営安定化することで後継者が定着するなど、産地が活性化している。

詳細は別途資料をご覧ください

畦畔雑草対策を楽に！除草剤「ダイロンゾル」について

除草剤「ダイロンゾル」についてご紹介します。散布した土壌表層に薬剤（ダイロン）の処理層ができることで、雑草の発生を長く抑えます。茎葉除草剤（バスタ等）と混用すると、生えている雑草を枯らすのに加えて、これから生えてくる雑草の発生を抑えられるためおすすめです。

【使用方法】

水田畦畔に使用する場合、使用回数が1回までです。

雑草が生える前の畔塗作業時（5月中旬頃）にダイロンゾルを処理すれば、7月頃まで雑草の発生を抑えます。

7～8月頃など雑草が既に生えている時は、茎葉除草剤のバスタやザクサと混用散布することで秋まで効果が持続します。

【効果を高めるポイント】

①水田畦畔の場合1 aあたり、水10ℓに対しダイロンゾル25mℓ（400倍）をしっかりと散布してください。

散布液量が不足すると効果不足の原因になります。

②土壌にも良く掛かるよう、雑草が大きくなる前に散布してください。（目安として草丈10cm以下）

③調合液は沈殿しやすいので、ときどき攪拌してください。

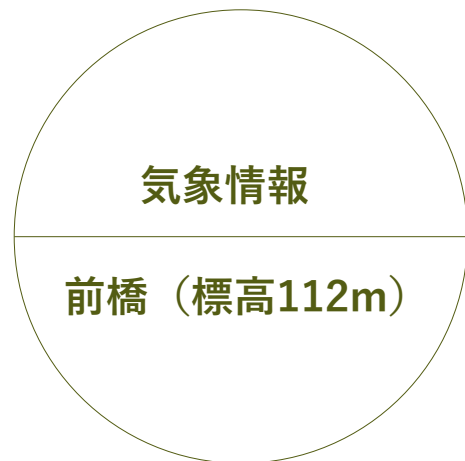
作り置きせずに早めに使用してください。

使用する際はラベルを確認し、最新の登録内容に従ってください。

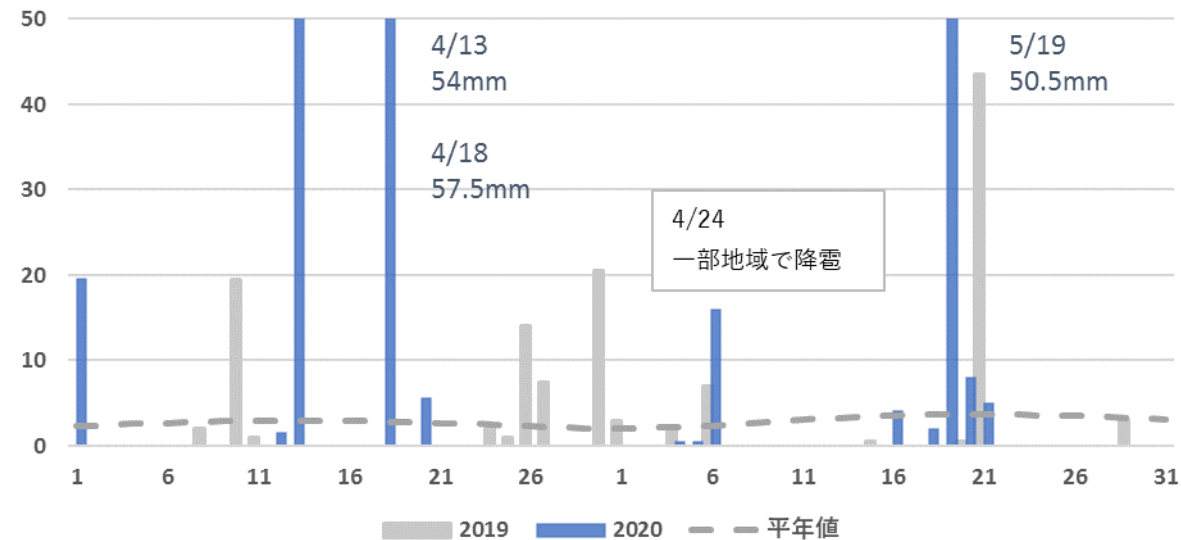
お問い合わせ先

生産資材部 肥料農薬課

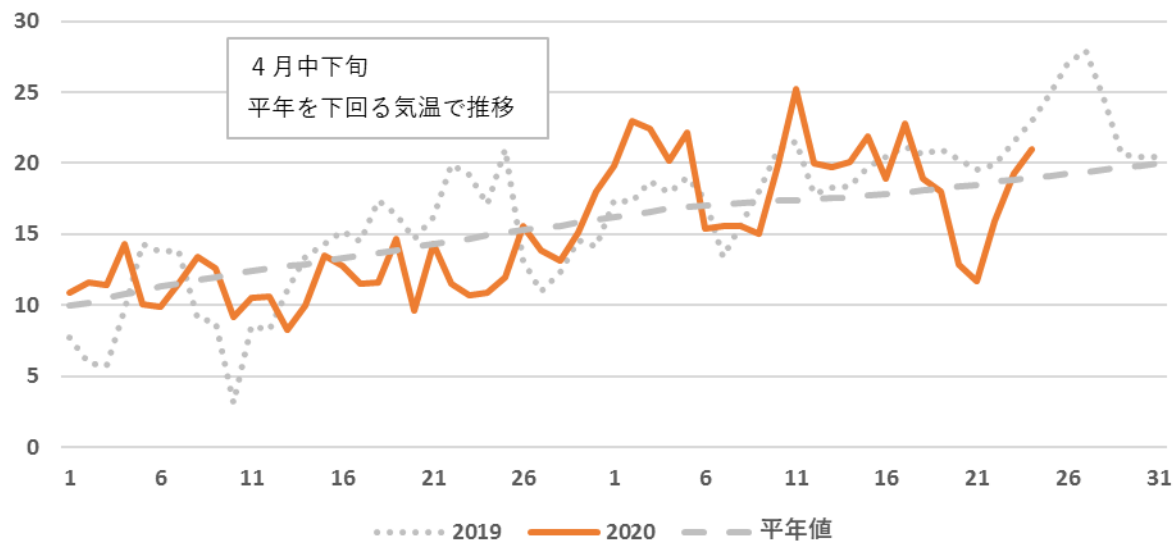
TEL：027-220-2301



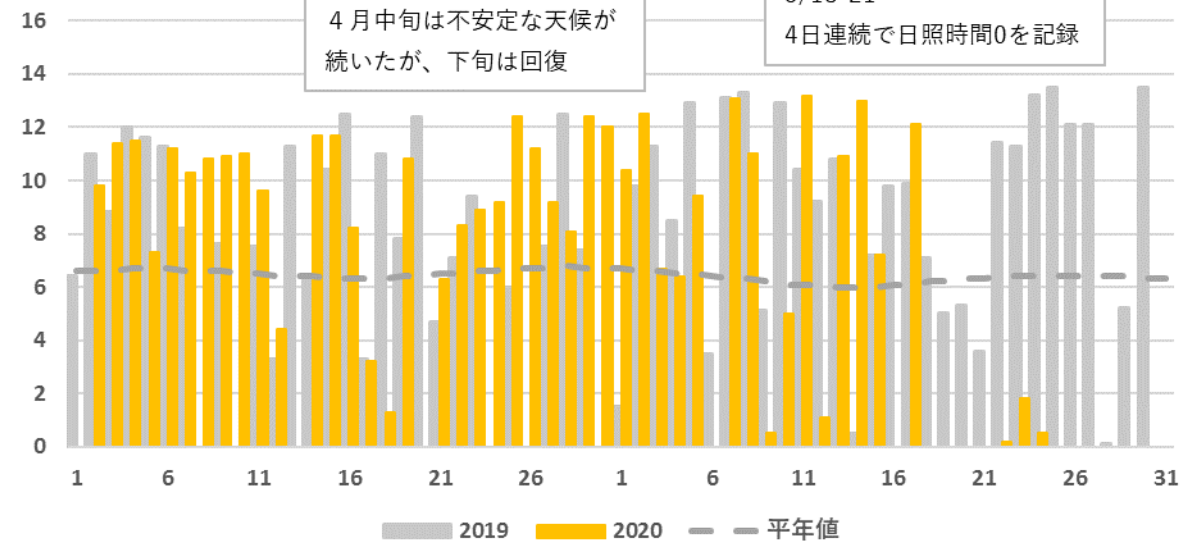
2020年4月～5月 降水量 (mm)



2020年4月～5月 平均気温 (°C)

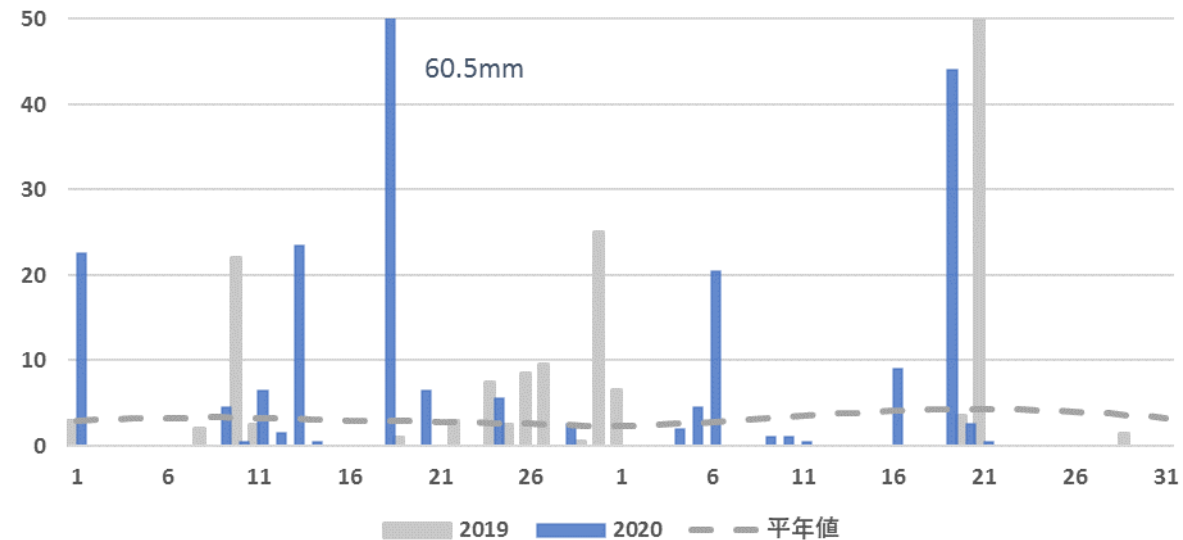


2020年4月～5月 日照時間 (h)

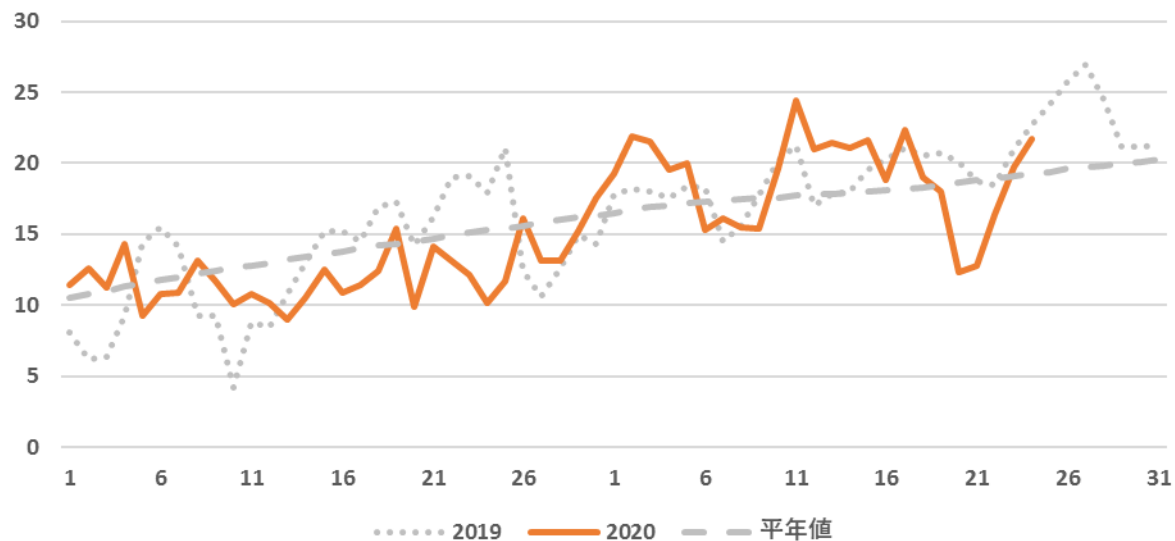




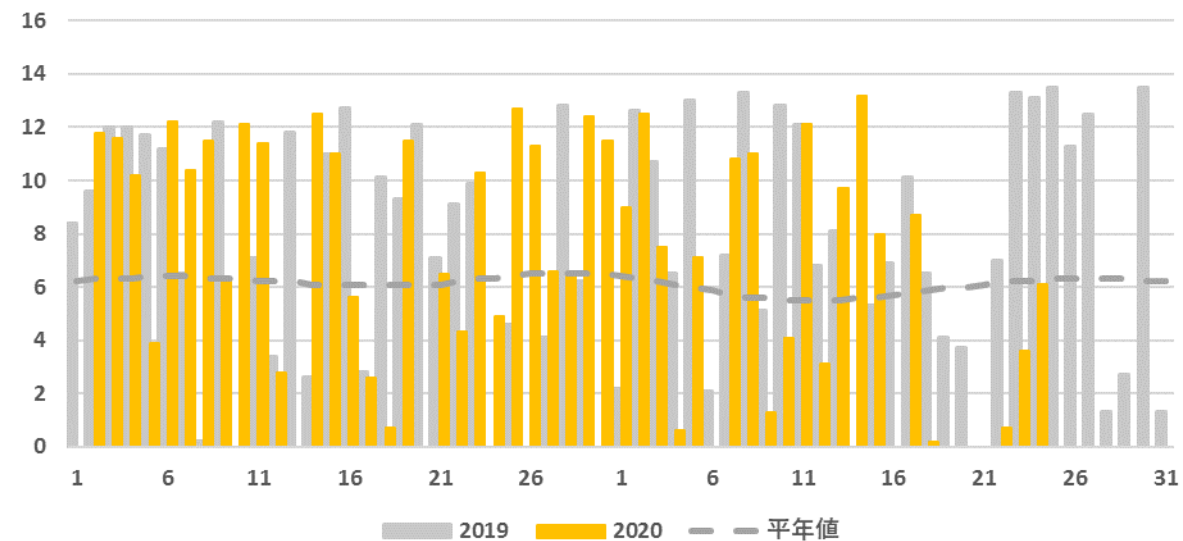
2020年4月～5月 降水量 (mm)



2020年4月～5月 平均気温 (°C)

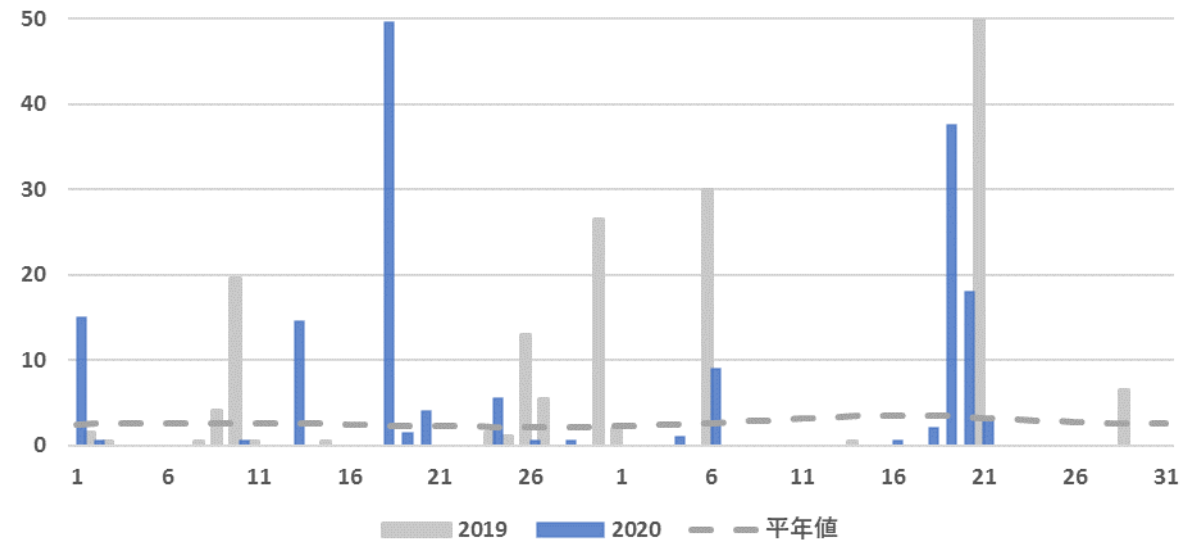


2020年4月～5月 日照時間 (h)

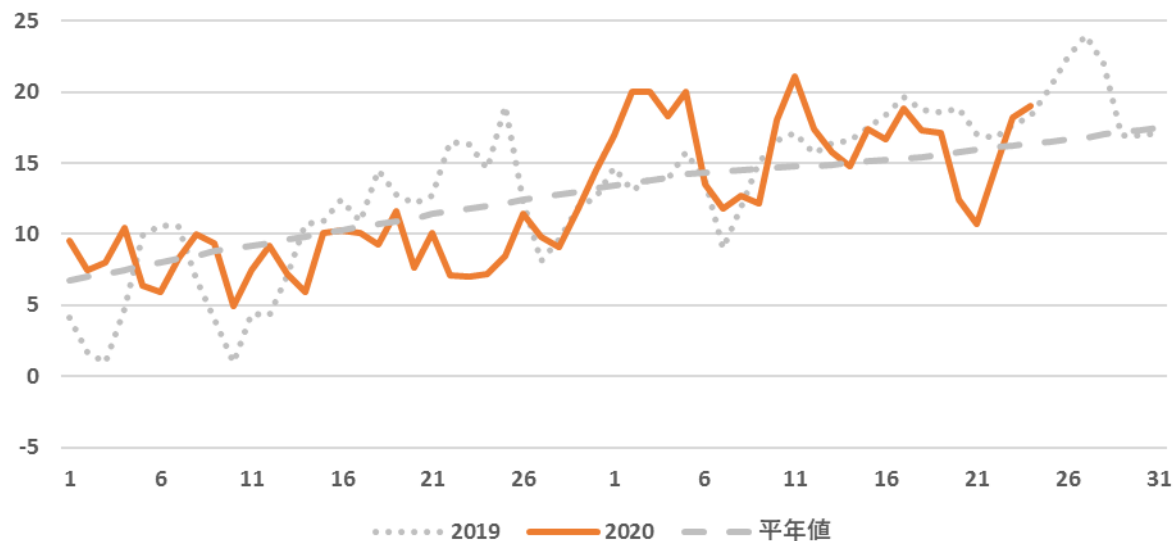




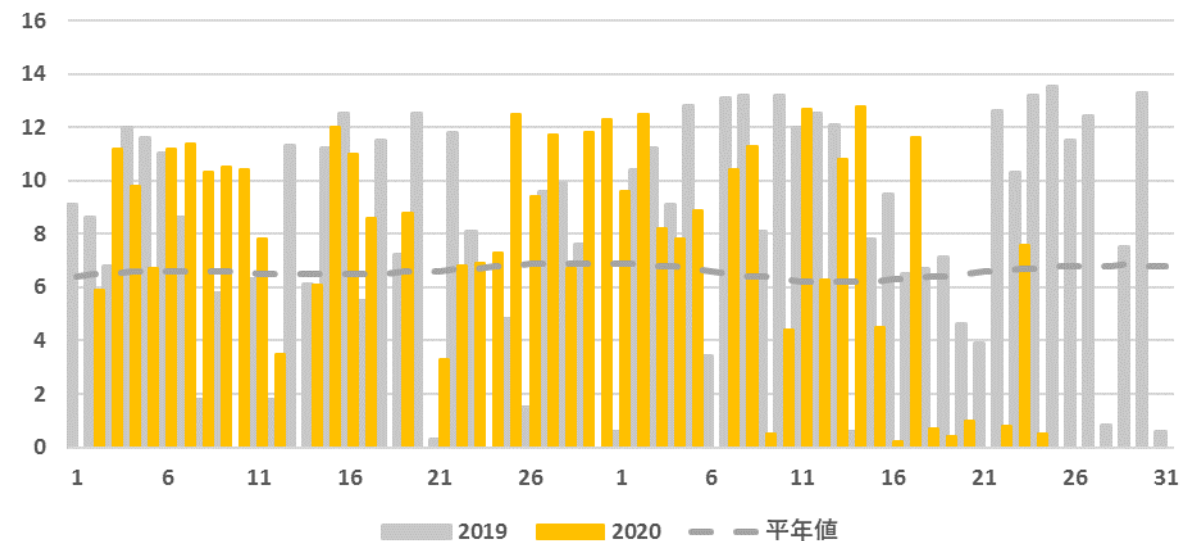
2020年4月～5月 降水量 (mm)

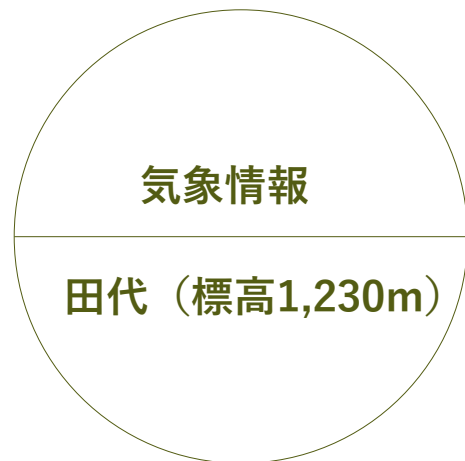


2020年4月～5月 平均気温 (°C)

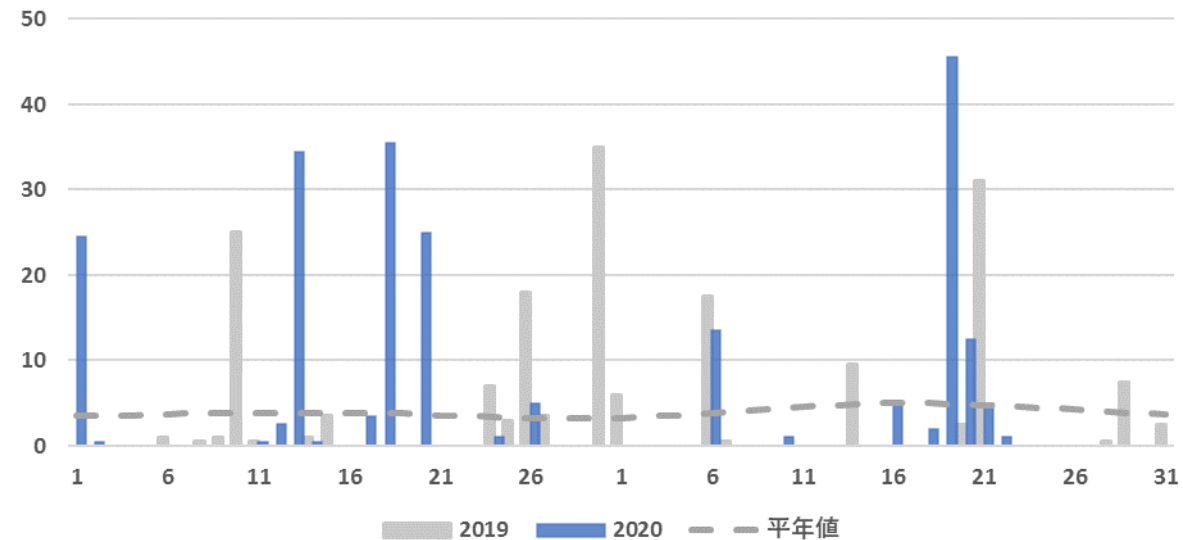


2020年4月～5月 日照時間 (h)

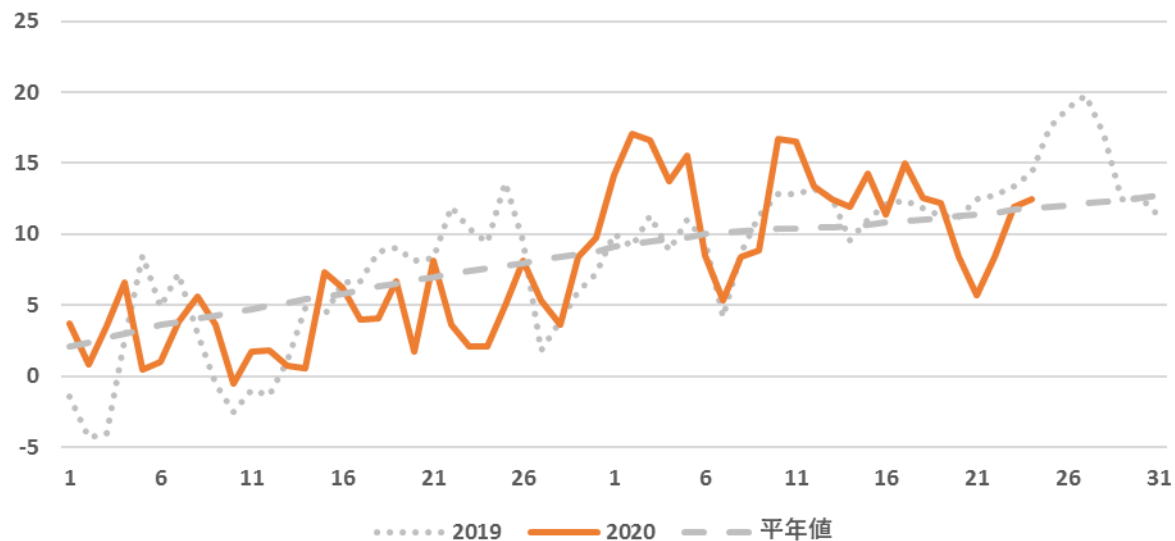




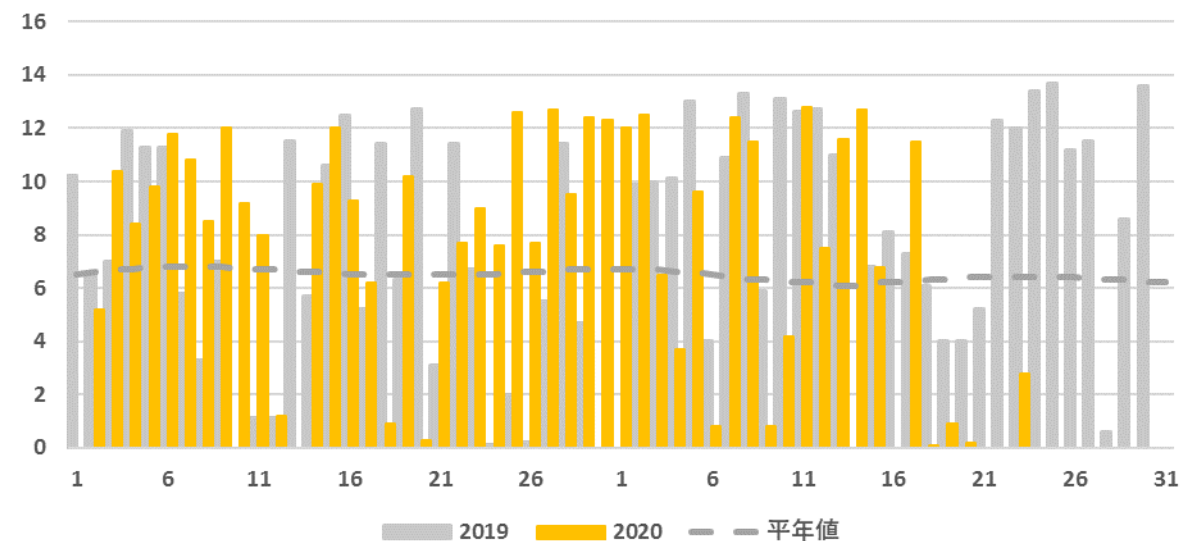
2020年4月～5月 降水量 (mm)



2020年4月～5月 平均気温 (°C)



2020年4月～5月 日照時間 (h)



実証農場情報

キュウリ・ナスをはじめとした施設野菜の栽培状況やGAPへの取り組みなど、園芸作物生産実証農場の今をご紹介します。

- 促成キュウリ（定植：1/16）「勇翔」「聖真」
- 半促成ナス（定植：2/5）
「式部」「黒福」「あのみり2号」「輝楽」
タキイ種苗試験品種「No.501」「No.559」
- ミニトマト（定植：3/17）※ういずOne
「アルル」「キリちゃん」「サンオレンジ」
- ハウスエダマメ・トウモロコシ（定植：3/13,18,25）

キュウリ

- ・上位節も伸びが早く、着花節位も下がっており中段に雌花が集中している状況。
- ・下位葉の温存開始から2週間経過したが、腹白果の発生が続いており、ベッドを覆う葉の除去が必要。
- ・曇雨天が続いた中、出荷量は230～350Kg/日を維持している。

ナス

- ・病害虫の発生もなく順調に生育。
- ・式部、黒福、あのみり2号、輝楽のピンチ作業はほとんど終了。

（調査日：5月21日）



編集後記

犬をトリミングに連れていく度にもらえるポイントが貯まり、特典としてエステが無料で受けられることに。飼い主である私より先に犬がエステを経験するとは想定外でしたが…。無事エステを終え帰ってきた犬の表情は、心なしか得意げに見えました。

J A みどりの風

旬のおいしい野菜や果物をご紹介します。新鮮で安心・安全な農産物を販売するJAの直売所、農家の奥さま直伝のレシピ等も必見！

群馬テレビで放送中！

■本放送

毎週月曜日 21:00～21:30

■再放送

毎週日曜日 8:00～8:30

今週の放送予定

第1417回
みんなで野菜を学び、育てよう！

放送日：5月25日（月）
再放送日：5月31日（日）

能登リポーターが食農教育を体験。ハロウィン用のジャンボかぼちゃを定植します。また、野菜クイズや、春野菜を使った料理をご紹介します。

来週の放送予定

第1418回
お野菜キングダム6月号！

放送日：6月1日（月）
再放送日：6月7日（日）

ナス・ミニトマト・サトイモ・とうもろこし・枝豆・落花生の途中経過を観察し、管理作業を行います。今回、新たにサツマイモとニガウリの作付けにも挑戦！

営農経済トピックは、各部署等からの情報をまとめ、毎週月曜日に発信しています。情報内容へのご意見・ご要望をおまちしております。

営農支援部 生産対策課（担当：浅野）TEL：027-220-2046